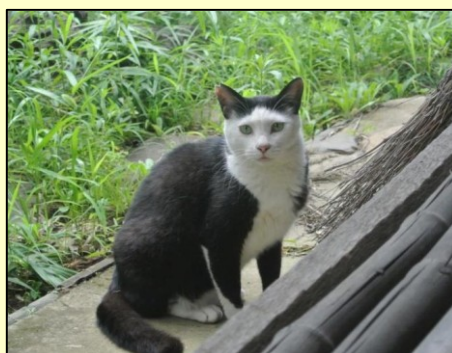


「カッパちゃん写真展」

in 越谷市民まつり

日時：2015年10月25日(日) 9時～4時

会場：越谷市役所となり葛西用水土手・ウッドデッキ近く



「カッパちゃん写真展」は、野良猫だったカッパちゃんが「地域猫」になるまでの物語。

小さい写真で見えにくいけど、耳先のさくらの花びらのような切れ込みは、去勢手術済みのしるしです。

練馬のボランティア「NPO法人ねりまねこ」さんが、これ以上、野良猫が増えないように①捕まえて、②手術して、③もとの所で世話をする「地域猫」にしたのです。

猫は生後半年で子供を産み、一年に2、3回出産します。手術すれば、猫の喧嘩も鳴き声も、オシッコの匂いも減り、必ず野良猫は減っていきます。

越谷市では、これまで1円も野良猫の不妊手術にお金を出していません。殺処分の予算は130万円もあるのですから、子猫を産ませない「地域猫」活動と一緒に取り組んで欲しいと思います。地域の皆様のご理解とご協力も、もちろん必要です。

ブログで人気の「カッパちゃん写真展」をご覧になり、「地域猫」活動の実際を知っていただきたいと思います。

ある寒い日のことだった。
心の優しい夫婦の住む庭に、見慣れぬけれど、一度見たら忘れられない変わった柄の猫がやってきました。
どじやら野良猫のようじゃあ。

主催：越谷市動物愛護ボランティア連絡協議会

後援：NPO法人ねりまねこ、越谷市保健所、越谷わんにゃんボランティア